



宇都宮市の白沢浄水場で養殖が進む
ヤシオマス=同市白沢町

ヤシオマス 原水で養殖

市、餌にイチゴ活用

宇都宮の水道水 良質を知つて

宇都宮市の水の良質さを広く知つてもらおうと、同市上下水道局は水道水の原水を使用して本県ブランド魚ヤシオマスの養殖を始めた。市内の白沢浄水場にある水質監視用池を活用し100匹を育成中。近隣農家の協力を得て県産イチゴのスカイベリーを液状化して混ぜた餌を使用しており、「うつのみやストロベリー サーモン」と名付け、来春の出荷を目指す。

佐藤栄一市長が26日の定例記者会見で発表し、「通

市は同浄水場の水をペットボトル詰めて「泉水」として販売。国際的な品質評価コンテストで金賞を受賞するなど高く評価されている。同局は、この水利用したPR事業を模索する中で県水産試験場に相談し、清流を好むヤシオマスの繁殖のアイデアにたどり着いた。県産イチゴの活用はブランド価値を高めるのが目的。イチゴに含まれるビタミンCとポリフェノールで魚が健康に育つという。1月中旬に稚魚100匹を購入し、30平方㍍の池に放した。池の水は良質な地下水を原水とし、年間を通して水温が15度前後であることをから養殖には最適といふ。現在は約1・1キロに成長

常1匹2キロで出荷するが、宇都宮でしか食べられない3キロまで成長させ、水質の良さを証明したい」と意気込んだ。

市は同浄水場の水をペットボトル詰めて「泉水」として販売。国際的な品質評価コンテストで金賞を受賞するなど高く評価されている。同局は、この水利用したPR事業を模索する中で県水産試験場に相談し、清流を好むヤシオマスの繁殖のアイデアにたどり着いた。県産イチゴの活用はブランド価値を高めるのが目的。イチゴに含まれるビタミンCとポリフェノールで魚が健康に育つという。1月中旬に稚魚100匹を購入し、30平方㍍の池に放した。池の水は良質な地下水を原水とし、年間を通して水温が15度前後であることをから養殖には最適といふ。現在は約1・1キロに成長

英明課長補佐は「水質の良さや温度が一定であることから、普通の養魚場より成長が早い。通常1キロ1250円程度だが、それ以上で売りたい」と話す。同局は今月3日、県から受けた。11月ごろには2キロ程度に育つ見込みで、一部



232

小学校高学年向け 年組

設問

【1】宇都宮市上下水道局は、どうしてヤシオマスの養殖を始めたのでしょうか。その理由として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えましょう。

- ア 栃木県産のヤシオマスの生産量を増やすため
イ 栃木県産とちあいかを使ったえさを広めるため
ウ 宇都宮市の水の大切さを分かってほしいため
エ 宇都宮市の水道水の質の高さを知ってほしいため

【2】宇都宮市上下水道局は、浄水場の水をペットボトルに入れて販売しています。国際的な品質評価コンテストで金賞を受賞するなどの高い評価を受けた、この水の名前は何でしょうか。

【3】宇都宮の原水で育てたヤシオマスはどのように育っていくのか、次の文章にまとめました。〔〕の中にあてはまる言葉を書きましょう。

1月中旬、稚魚100匹を、〔ア〕を原水とした池に放しました。通常1匹2キロで出荷しますが、〔イ〕でしか食べられない3キロまで成長させる予定です。水質の良さや、水温が年間15度前後で〔ウ〕であるため、普通の養魚場より成長が早くなります。11月ごろには、2キロ程

2024年6月27日付・下野新聞1面

を水揚げし、ホテルやレストランなどで試食会を行う予定。さらになつた成魚を出荷する計画だ。
(龜井勝)

度に育って、ホテルやレストランなどで〔エ〕を行う予定です。2025年の春には、3キロになつたヤシオマスを〔オ〕するという計画です。

【発展】

宇都宮市以外の地域でも、浄水場の水を販売しているでしょうか。販売されている市町と水の名前を調べてみましょう。